

令和元年度(2019年度)

管理事業名	地域環境衛生事業			総合計画の体系	大綱 5 環境 政策 1 環境先進都市のまちづくり 施策 3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 6 環境衛生費
部局名	環境部・健康医療部	予算執行所屬	環境政策室・衛生管理課		
予算大事業名 地域環境衛生事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)狂犬病予防費 地域環境衛生事業 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)やすらぎ苑費 地域環境衛生事業 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)葬儀費 地域環境衛生事業				
事業の目的と概要 【目的】地域を衛生的に保つ事業を通じ、安全で健康かつ快適な生活を営むことができる良好な環境を保つことを目的としています。 【概要】衛生害虫等駆除事業(公共施設で発生した不害害虫や衛生害虫の駆除を行う事業です) 市有墓地管理事業(市有墓地の使用許可等基盤管理、光熱水費の負担、除草剪定、修繕整備工事等施設の維持管理を行う事業です) 狂犬病予防事業(狂犬病予防法に基づく飼い犬登録業務及び狂犬病予防注射票交付事業です) 飼い猫等避妊・去勢手術補助事業(手術経費の補助として飼い猫1匹2,500円、野良猫5,000円(1世帯につき2匹まで)を交付する事業です) 専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導事業(飲用水等の安全を確認することにより飲用水等の使用者の健康を確保するため、水道法等に基づく届出受理及び立入検査等により施設の適切な水質管理に関し、助言・指導を行う事業です。) やすらぎ苑事業(棺の受入、火葬及び収骨等の火葬に係る業務を行う事業及び環境部事業課から搬入される死獣及び医療に伴う排出物を焼却炉にて焼却する事業です。また、火葬場であるやすらぎ苑の火葬業務を円滑に行えるよう、施設管理を行っています。)					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
火葬件数	件	3,241	3,122	3,174	各年度内に執行した火葬の件数
害虫駆除散布箇所数	箇所	526	833	776	薬剤散布箇所数
成果の説明	直近3年間の火葬件数は横ばいです。河川等におけるユスリカ等の発生抑制や、公共施設における毛虫等の被害に応じた駆除のために薬剤散布を行っており昨年度と比べほぼ横ばいで推移しております。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	2	9	47,233	47,224
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	134	264	110	△154
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	6,264	6,264
経常収入 小計(a)	136	273	53,606	53,333
給与関係費	23,714	27,566	48,190	20,624
物件費	12,073	13,215	85,666	72,451
維持補修費	199	8,831	47,298	38,467
社会保険扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,000	990	973	△18
特別会計への繰入金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	31,349	31,349
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,809	2,073	3,814	1,741
退職手当引当金繰入額	280	5,359	700	△4,658
支払利息	-	-	1,416	1,416
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	39,075	58,035	219,406	161,371
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△38,939	△57,762	△165,800	△108,038
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	4,384	-	△4,384
特別収入 小計(d)	-	4,384	-	△4,384
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	4,384	-	△4,384
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△38,939	△53,378	△165,800	△112,422
一般財源充当額	40,665	50,130	159,997	109,867
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	1,726	△3,248	△5,803	△2,555

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	やすらぎ苑使用料35,444千円 飼い犬登録および狂犬病予防注射票交付手数料11,701千円
物件費	やすらぎ苑指定管理委託料66,422千円
維持補修費	やすらぎ苑修繕料47,111千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	136	273	53,606	53,333
行政サービス活動支出	40,801	54,787	190,530	135,743
行政サービス活動収支差額	△40,665	△54,514	△136,923	△82,410
投資活動収入	-	4,384	-	△4,384
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	4,384	-	△4,384
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	23,073	23,073
財務活動収支差額	-	-	△23,073	△23,073
収支差額合計	△40,665	△50,130	△159,997	△109,867
一般財源充当額	40,665	50,130	159,997	109,867
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)やすらぎ苑使用料35,444千円 (行政サービス活動支出)やすらぎ苑指定管理委託料66,422千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072 人	106 円	やすらぎ苑事業等の編入により、市民1人あたりのコストが増加しています。(令和2年3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	平成30年度	371,030 人	156 円	
	令和元年度	373,978 人	587 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,073	27,166	25,092
未収金	-	27	27	地方債	-	23,351	23,351
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,073	3,814	1,741
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	△27	△27	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	338,774	3,872,301	3,533,528	固定負債	22,639	107,146	84,506
土地	338,774	2,860,855	2,522,082	地方債	-	71,200	71,200
建物・工作物	-	1,011,446	1,011,446	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	22,639	35,946	13,307
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	76	76	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	24,713	134,311	109,599
土地	-	-	-	純資産	314,061	3,738,065	3,424,005
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	338,774	3,872,377	3,533,603	負債及び純資産の部合計	338,774	3,872,377	3,533,603

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数
事業従事人数	5.77 人	人	563 日	5 人
給与関係費等	46,791 千円	千円	5,888 千円	25 千円
内、時間外勤務手当	855 千円			

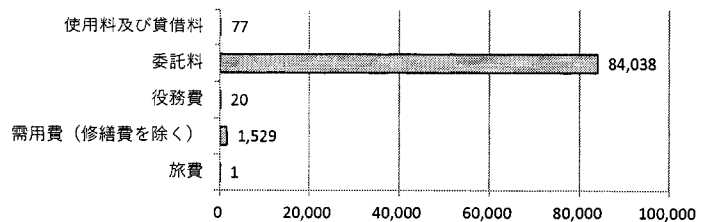
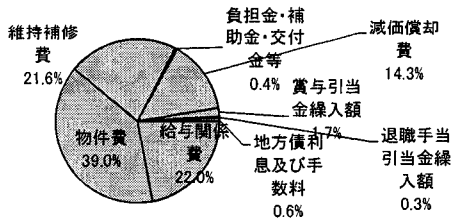
合計(千円) 52,704

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 土地	やすらぎ苑 2,522,082千円の増
事業用資産 建物・工作物	やすらぎ苑 1,011,446千円の増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
受益者負担比率		0.0	0.0	21.5	21.5
徴収不能引当率		-	-	100.0	100.0
一般財源充当比率		99.7	91.5	74.9	△16.6

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

令和元年度実施事業に係る管理事業の再構成により、やすらぎ苑事業から火葬場運営管理の取組、狂犬病予防事業から狂犬病予防法に基づく取組などが、本事業へ追加されました。その影響により、平成30年度に比して経常収入及び経常費用が大幅に増加しています。経常費用の主なものにつきましては、物件費85,666千円(39.0%)、給与関係費48,190千円(22.0%)、維持補修費47,298千円(21.6%)、減価償却費31,349千円(14.3%)となっています。物件費の主な内訳としては、指定管理委託料66,422千円、衛生害虫駆除委託料9,806千円です。また、使用料につきましては、吹田市使用料・手数料及び自己負担金改定に関する基本方針で、やすらぎ苑は大部分を公費負担とする施設として、受益者負担比率が低くなっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

火葬場の施設管理運営については一定の経費がかかりますが、その大半は公費から支出されています。そこで、一体的で効率的な施設管理運営を目的として平成30年4月から指定管理者制度を導入しました。制度を導入することにより、民間のより専門的な知識や技術を活かして市民サービスの向上を図ることができました。なお、火葬炉については定期的に保守点検を実施していますが、炉本体の損傷による火葬炉使用停止は、市民生活に多大な影響を与えることから、今後も継続して日常の設備点検を充実していく必要があります。